

国連安保理改革に関する
G 4（日本，インド，ドイツ，ブラジル）首脳会合
共同プレス声明（仮訳）

（2015年9月26日 於：ニューヨーク）

平成27年9月
国連政策課

1. 2015年9月26日，ナレンドラ・モディ・インド首相は，ジルマ・ルセーフ・ブラジル大統領，アンゲラ・メルケル・ドイツ首相及び安倍晋三日本国内閣総理大臣を招き，ニューヨークにおいてG 4首脳会合を行った。
2. G 4首脳は，近年急増しているグローバルな紛争及び危機に対応するため，安保理をより代表性が高く，正当性があり，かつ実効的なものとするのが未だかつてない程必要とされていることを強調した。また，G 4首脳は，より多くの国連加盟国が国際の平和と安全に関する主要な責任を引き受ける意思と能力を有するようになった21世紀の現実を反映させることにより，これが実現出来るということに一致した。
3. この文脈で，G 4首脳は，全ての国連加盟国の国家元首及び政府首脳が安保理の「早期の改革」が全体的な国連改革の取組の主要な要素であることを支持した2005年の世界サミット以降，何ら実質的な進展がないことに懸念を表明した。G 4首脳は，本件の緊急性に鑑み，国連で進展しつつある安保理改革を進めるための取組は，一定の期限の中で進められるべきであることを強く強調した。
4. G 4首脳は，政府間交渉を文書に基づく交渉へと進めていく上での，第69回会期国連総会議長の躍動感のある指導力及び政府間交渉議長の尽力を賞賛した。G 4首脳は，国連総会が，第69回会期国連総会議長が2015年7月31日付の書簡により提示した文書を政府間交渉の枠組における交渉の基礎として用いるとの決定69/560を，全会一致で採択したことを歓迎した。また，G 4首脳は，第70回会期国連総会議長への支持及び協力を約束した。

5. G4首脳は、文書に基づく交渉開始のための国連加盟国の努力を評価した。特に、G4首脳は、アフリカ・グループ、カリコム及びL69の加盟国による努力を歓迎した。G4首脳は、安保理の常任・非常任双方でのアフリカの代表性を支持した。また、G4首脳は、拡大され改革された安保理における、小島嶼開発途上国を含む中小国の適切かつ継続的な代表性の重要性に留意した。
6. G4首脳は、G4各国が拡大され改革された安保理における正当な新規常任理事国の候補であることを強調し、また、相互の立候補を支持した。また、G4首脳は、国連憲章の目的及び原則の実現のために引き続き貢献するとの決意を再確認した。G4首脳は、全ての国連加盟国と協働するとともに、早期かつ有意義な安保理改革の実現に向けた働きかけを加速化することを約束した。G4首脳は、国連総会第70回会期中に具体的成果を得るための努力を強化するとの決意を表明した。